

歯冠補綴学実習

責任者名：野川 博史

学期：後期

対象学年：3年

授業形式等：実習

◆担当教員

野川 博史(歯科補綴学Ⅲ 助教)

松村 英雄(歯科補綴学Ⅲ 教授)

萩原 芳幸(歯科補綴学Ⅲ 准教授)

小峰 太(歯科補綴学Ⅲ 准教授)

本田 順一(歯科補綴学Ⅲ 助教)

平場 晴斗(歯科補綴学Ⅲ 助教)

小平 晃久(歯科補綴学Ⅲ 助教)

◆一般目標 (GIO)

歯質欠損による機能低下を回復するための歯冠修復治療の意義を理解し、実践するための基本的な知識と技能を身につける。

◆到達目標 (SBOs)

歯質欠損に対する歯冠修復治療（46の全部金属冠による補綴治療）を模型上で行うことができる。

- ①46の歯型彫刻を行うことができる。
- ②全部金属冠を製作するための支台歯形成を行うことができる。
- ③全部金属冠を製作するための印象採得を行うことができる。
- ④全部金属冠を製作するための研究用模型と作業用模型が製作できる。
- ⑤全部金属冠を製作するためのワックスパターン形成ができる。
- ⑥全部金属冠を製作するためのワックスパターンの埋没、鋳造、および鋳造体の研磨ができる。

クラウンブリッジによる治療について説明できる。

- ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。
- ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM法を含む）を説明できる。
- ③支台歯形成の意義と方法を説明できる。
- ④クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。
- ⑤プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。
- ⑥クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。
- ⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。
- ⑧クラウンブリッジの装着方法を説明できる。

◆評価方法

技能の習得レベルを事前に配布する評価表の基準に従って、各班のインストラクターが計4回評価する(70%)。評価後は学生に対してフィードバックを行う。

支台歯形成とプロビジョナルレストレーションの評価に関しては、臨床を想定した実習試験を実施する。技工操作に関しては、実習中に製作したワックスパターンと全部金属冠を評価する。

最終回に平常試験を実施し、歯冠修復治療の理解度を評価する(30%)。試験後は学生に対してフィードバックを行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
野川 博史	実習終了後 30 分以内 実習室, 歯科補綴学第Ⅲ講座研究室	nogawa.hiroshi@nihon- u.ac.jp	

◆授業の方法

診療室での治療を想定した実習を第4実習室で行い、技工室での技工作業を想定した実習を第5実習室で行う。実習開始前に、歯冠修復治療に必要な知識と技能についての講義を行う。

【実務経験】野川博史：現在、日本大学歯学部附属歯科病院にて歯科診療を実践している立場から、本実習の内容に関して、歯冠修復による治療の実際に基づき解説を行う。臨床的な視点と基礎的知識に基づく指導を行うことにより、講義と実習を関連付けて学習できる環境を提供する。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	クラウンブリッジ実習マニュアル 第13版	日本大学歯学部歯科 補綴学第Ⅲ講座 編	三恵社	2020
参考書	歯の解剖学	藤田 恒太郎 原著	金原出版	1995

◆DP・CP

[DP4] コンピテンス:問題発見・解決力

コンピテンス:自ら問題を発見し,その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[DP8] コンピテンス:省察力

コンピテンス:プロフェッショナルとして生涯にわたり,振り返りを通じて基礎・臨床・社会歯科領域において自らを高める能力を身につけている。

[CP3] 幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に,論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成す

る。

[CP4] 歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

[CP5] 研究で明らかとなる新たな知見と研究マインドをもとに、歯科医学の課題に挑戦する学生を育成する。

[CP8] 各学年における学修で得た歯科医学の知識、技術および省察力をもとに、歯科医師として生涯にわたり学習する姿勢を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に実習書を読んで、実習内容および目的を理解しておくこと。

◆準備学習時間

準備学習に必要な時間（1時間程度）を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

第3学年後期 歯冠補綴学

第4学年前期 架橋義歯補綴学

第4学年前期 架橋義歯補綴学実習

第4学年後期 固定性義歯補綴学

第4学年後期 顎機能分析演習

第4学年後期 専門総合特別講義Ⅲ（インプラント）

第5学年前期, 後期 臨床実習

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1 ・ 2 ・ 3		9.7	1 ～ 3	1. 46 の歯型彫刻 (参) pp.92-111	・46 の全部金属冠製作にあたり、 46 の形態的特徴を説明できる。 ・ワックス棒で歯の形態を彫刻できる。	野川 博史 他	E-3-1)-(2) 歯 種別の形態と 特徴を説明で きる。
4 ・ 5 ・ 6		9.14	1 ～ 3	2. 46 全部金属冠 1)支台歯形成 (教) pp.1-7	・46 の全部金属冠の支台歯形成に おけるマネキンやエアタービンの基 本的操作ができる。 ・エアタービンを用いての外側性形 成と支台歯形成の基本的な手技を説 明できる。 ・形成限界（歯頸部辺縁形態）をシ ャンファーとした支台歯形成を実施 できる。	野川 博史 他	E-3-4)-(1)-④ 支台歯形成の 意義と方法を 説明できる。
7 ・		9.28	1 ～	2. 46 全部金属冠 1)支台歯形成	・46 の全部金属冠の支台歯形成手 順を説明できる。	野川 博史 他	E-3-4)-(1)-④ 支台歯形成の

8 ・ 9			3	(教) pp.1-7	<ul style="list-style-type: none"> ・術者と患者の位置関係や診療姿勢を説明できる。 ・形成限界（歯頸部辺縁形態）をシヤンファーとした支台歯形成を実施できる。 		意義と方法を説明できる。
10 ・ 11 ・ 12		10.5	1 ～ 3	2. 46 全部金属冠 2)支台歯形成および評価 「実習試験」 (教) pp.1-7	<ul style="list-style-type: none"> ・形成限界（歯頸部辺縁形態）をシヤンファーとした支台歯形成を実施できる。 ・支台歯形成の実習試験と各指導者からの指導を受け、全部金属冠の支台歯形成の基本を説明できる。 	野川 博史 他	E-3-4)-(1)-④ 支台歯形成の意義と方法を説明できる。
13 ・ 14 ・ 15		10.12	1 ～ 3	2. 46 全部金属冠 3)上顎印象採得および対合歯列模型製作 4)下顎精密印象採得 5)下顎作業用模型の製作 (教) pp.15-31	<ul style="list-style-type: none"> ・対合歯列模型の製作目的と方法を説明できる。 ・アルジネート印象材を用いて概形印象採得を実施できる。 ・46 の全部金属冠のための精密印象採得を実施できる。 ・下顎精密印象に一次石膏を注入し、硬化後ダウエルピンを植立、ボクシング、二次石膏注入と一連の作業用模型の製作過程を説明、実施できる。 	野川 博史 他	E-3-4)-(1)-⑤ クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。
16 ・ 17 ・ 18		10.19	1 ～ 3	2. 46 全部金属冠 4)下顎精密印象採得 5)下顎作業用模型の製作 6)咬合器装着 (教) pp.20-36	<ul style="list-style-type: none"> ・46 の全部金属冠のための精密印象採得を実施できる。 ・下顎精密印象に一次石膏を注入し、硬化後ダウエルピンを植立、ボクシング、二次石膏注入と一連の作業用模型の製作過程を説明、実施できる。 ・咬合器装着の目的を説明できる ・上下顎模型を咬頭嵌合位で咬合器に装着できる。 	野川 博史 他	E-3-4)-(1)-⑤ クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。
19 ・ 20 ・		10.26	1 ～ 3	2. 46 全部金属冠 5)下顎作業用模型の製作 6)咬合器装着	<ul style="list-style-type: none"> ・下顎精密印象に一次石膏を注入し、硬化後ダウエルピンを植立、ボクシング、二次石膏注入と一連の作業用模型の製作過程を説明、実施で 	野川 博史 他	E-3-4)-(1)-⑧ クラウンブリッジの製作に必要な材料の

21				7)歯型の分割 8)歯型のトリミング (教) pp.24-39	きる。 ・咬合器装着の目的を説明できる ・上下顎模型を咬頭嵌合位で咬合器に装着できる。 ・歯型を分割し、歯型のトリミングを実施できる。		基本的操作を説明できる。
22 ・ 23 ・ 24		11.2	1 ～ 3	2. 46 全部金属冠 7)歯型の分割 8)歯型のトリミング 9)ワックスパターン形成 (教) pp.34-47	・歯型を分割し、歯型のトリミングを実施できる。 ・46 の解剖学的形態をワックスで形成できる。 ・ワックスパターン形成には盛り上げ法（塗ろう法）を用い、その方法を説明、実施できる。	野川 博史 他	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
25 ・ 26 ・ 27		11.9	1 ～ 3	2. 46 全部金属冠 9)ワックスパターン形成 (教) pp.36-47	・46 の解剖学的形態をワックスで形成できる。 ・ワックスパターン形成には盛り上げ法（塗ろう法）を用い、その方法を説明、実施できる。	野川 博史 他	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
28 ・ 29 ・ 30		11.16	1 ～ 3	2. 46 全部金属冠 10)ワックスパターン形成および評価 11)埋没 12)鋳造 (教) pp.36-57	・46 の解剖学的形態をワックスで形成できる。 ・ワックスパターンの評価と各指導者からの指導を受け、その基本を説明できる。 ・埋没方法を説明できる。 ・埋没材の練和および埋没操作ができる。 ・ブローパイプと遠心鋳造機を操作できる。 ・鋳造のタイミングを説明できる。	野川 博史 他	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-3-4)-(1)-② クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM法を含む)を説明できる。
31 ・ 32 ・ 33		11.30	1 ～ 3	2. 46 全部金属冠 11)埋没 12)鋳造 13)研磨 (教) pp.47-67	・埋没方法を説明できる。 ・埋没材の練和および埋没操作ができる。 ・ブローパイプと遠心鋳造機を操作できる ・鋳造のタイミングを説明できる。	野川 博史 他	E-3-4)-(1)-② クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM

					・ 鑄造体を研磨できる。		法を含む) を説明できる。
34 ・ 35 ・ 36		12.7	1 ～ 3	2. 46 全部金属冠 12) 鑄造 13) 研磨 14) 全部金属冠の評価 (教) pp.51-67	・ ブローパイプと遠心鑄造機を操作できる。 ・ 鑄造のタイミングを説明できる。 ・ 鑄造体を研磨できる。 ・ 全部金属冠の評価と各指導者からの指導を受け、一連の全部金属冠製作について基本を説明できる。	野川 博史 他	E-3-4)-(1)-② クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM法を含む) を説明できる。
37 ・ 38 ・ 39		12.9	1 ～ 3	2. 46 全部金属冠 15) プロビジョナルレストレーションの製作 (教) pp.7-14	・ 即時重合レジンを使用できる。 ・ 機能的、審美的に優れたプロビジョナルレストレーションを製作できる。	野川 博史 他	E-3-4)-(1)-⑦ プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。
40 ・ 41 ・ 42		12.14	1 ～ 3	2. 46 全部金属冠 16) プロビジョナルレストレーションの製作および評価 「実習試験」 (教) pp.7-14	・ 即時重合レジンを使用できる。 ・ 機能的、審美的に優れたプロビジョナルレストレーションを製作できる。 ・ プロビジョナルレストレーション製作の実習試験と各指導者からの指導を受け、プロビジョナルレストレーション製作の基本を説明できる。	野川 博史 他	E-3-4)-(1)-⑦ プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。
43 ・ 44 ・ 45		12.21	1 ～ 3	3. 平常試験	・ 歯冠補綴処置に関する試験と評価を受け、その手技と目的を列記、説明できる。	野川 博史 他	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-3-4)-(1)-① クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 E-3-4)-(1)-② クラウンブリッジの種類、特徴及び製作

							<p>法 (CAD/CAM法を含む)を説明できる。</p> <p>E-3-4)-(1)-④ 支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p> <p>E-3-4)-(1)-⑤ クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p> <p>E-3-4)-(1)-⑦ プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。</p> <p>E-3-4)-(1)-⑧ クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p> <p>E-3-4)-(1)-⑨ 研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。</p> <p>E-3-4)-(1)-⑩ 平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。</p> <p>E-3-4)-(1)-⑪ クラウンブリッジの装着方</p>
--	--	--	--	--	--	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

							法を説明できる。
--	--	--	--	--	--	--	----------

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
野川 博史 他	1006	萩原 芳幸
	2967	平場 晴斗
	2974	本田 順一
	3305	小平 晃久
	2704	野川 博史
	1006	萩原 芳幸
	2967	平場 晴斗
	3305	小平 晃久
	2704	野川 博史

